

質問； 監督が代打なり代走、或いは守備位置の変更等で選手を交代させるとき、注意しなければならぬことを教えてください。

回答； まず、選手の交代は全て球審への通告が必要です。(通告しないで交代(=無通告交代)は、ペナルティがあります)また、交代は、監督が球審に通告したとき成立します。次に、監督は十分に考えた上での交代通告ですから、交代の内容はしっかり頭の中に入っていますが、通告を受ける球審は『不意打ち状態』であることをご理解ください。そこで、選手を交代させるにあたっては、次の点に留意してください。

- ①通告は、プレイが一段落した時点で行う。例えば、打者が四球を得た時点ですぐに「代打〇〇」と通告される場合がよくありますが、これはダメです。プレイが一段落するまではボールインプレイ中です。球審もタイムの宣告をしません。あくまでも、プレイが一段落した時点、即ち、打者走者が一塁に達した後「タイム」を掛け、球審に通告してください。
- ②通告は、バックネットの前で、「〇〇に代え、代打(代走)〇〇、ユニホームナンバー(背番号)△番」と通告してください。球審は勿論、バックネット裏の記録員にも聞こえるようにお願いします。
なお、守備の交代時は「例 セカンド〇〇を下げ、〇〇ユニホームナンバー△番」と通告してください。誰を誰に交代させるかということを明確に行ってください。
- ③守備位置の変更が絡む場合は、まず、下げる選手を告げてから、どのように変わるかをゆっくり・はっきりと通告してください。

【次の点も忘れずに通告してください…】

代打なり代走を出した場合、そのイニングの攻撃終了後、その選手をどのようにするのか必ず球審に通告してください。例えば、そのまま守備につかせるのか、交代前の選手を再出場させるのかです。

そのまま代打・代走者を通告しないで守備につかせても無通告交代にはなりません、試合の円滑な運営、正確な記録のために必ず通告してください。

なお、無通告で交代前の選手を再出場させた場合は、無通告交代となります。(選手が交代しています) ※前記例の交代前の選手はスターティングプレイヤーとします。